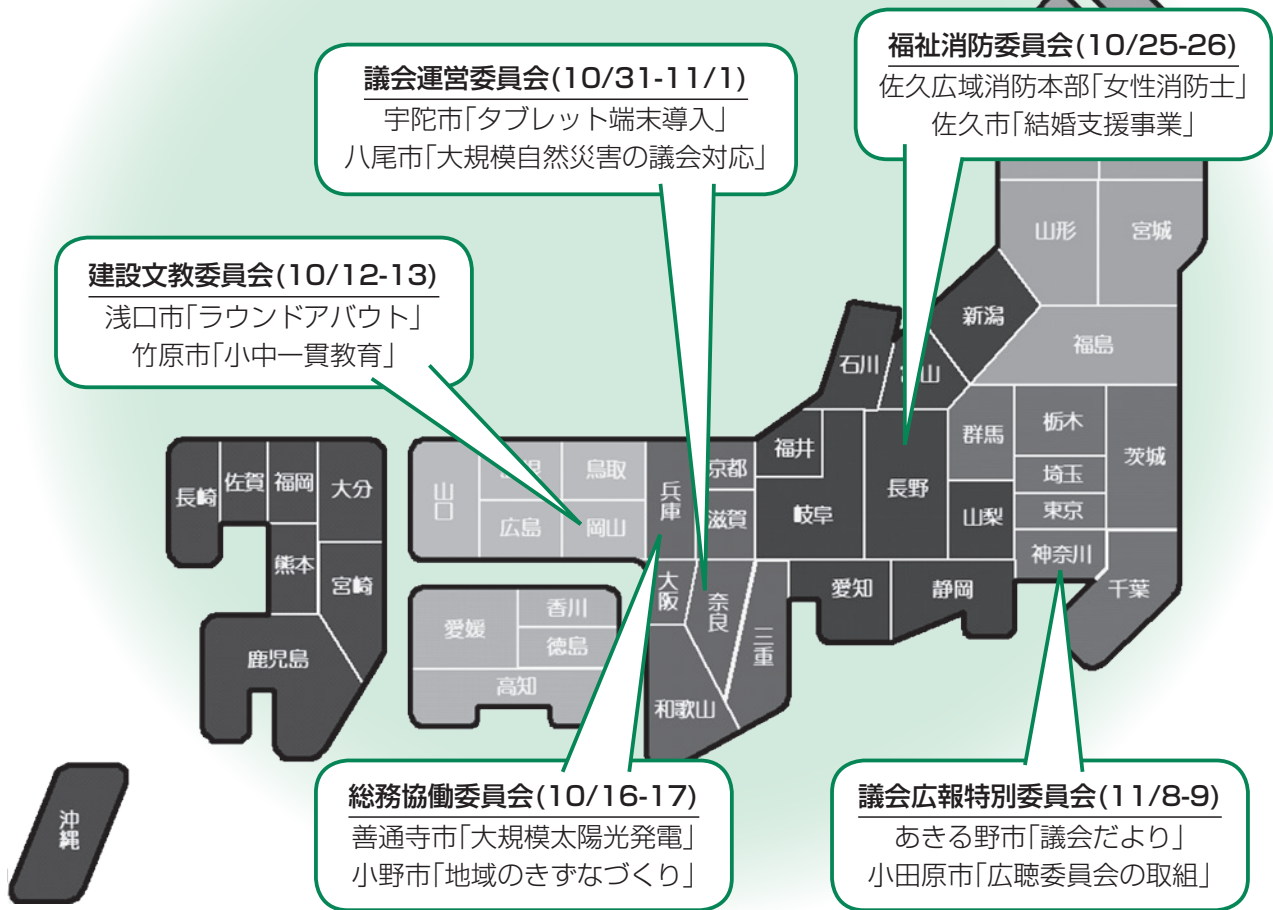


# 委員会行政視察報告書

～平成29年10・11月～



▲広島県竹原市

に通行することにより、交通事故減少効果があると導入しました。車両速度が抑制、信号待ちのイライラ解消から安全性の向上がある一方、通行方法の徹底に課題が残っているとの説明がありました。

広島県竹原市では、少子化や核家族化等による子どもを取り巻く環境の変化から、児童生徒のための学校教育改革として、中学校選択制と小中一貫教育システムの導入をしています。

市を中学校区ごとに4ブロックに分けて、小中一貫教育を推進しており、中一ギャップの解消、小中学校教職員の連携や

協力によるきめ細やかな指導、9年間を見据えたカリキュラムによる学力アップの効果が期待できるとのことです。また、統廃合には、当初は地元住民も反対でしたが、丁寧に説明し進めたとのことでした。

■信号機のない「環状交差点改良工事」の効果は岡山県浅口市では、交差点内を車両が時計回りに通行することにより、交通事故減少効果があると導入しました。車両速度が抑制、信号待ちのイライラ解消から安全性の向上がある一方、通行方法の徹底に課題が残っているとの説明がありました。

小中一貫教育のメリットは  
建設文教委員会